

平成24年 3月 1日

厚生労働省医政局看護課長 様

一般社団法人全国保健師教育機関協議会



第98回保健師国家試験の出題内容について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃から、保健師教育にご配慮頂き、厚くお礼申し上げます。
また、全国保健師教育機関協議会の活動に特段のご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、2月17日に行われました第98回保健師国家試験の試験問題については、大変なご努力を重ねられたことがうかがえました。
この試験問題に対し、当協議会会員校から寄せられた意見を集約し、別紙の通り検討しましたのでお届けいたします。

是非、ご検討いただけますよう、お願い申し上げます。

I 不適切問題

【午前】

問題番号	理由	コメント
問題 3 4	正答が複数ある。	設問の主旨が不明確であり、正答をひとつに絞れない。保健指導の評価項目を問うているなら、正答は5であり、健診日程の変更による影響の評価項目を問うているなら、正答は2である。

【午後】

問題番号	理由	コメント
問題 2 5	正答がない	出題の意図が法的根拠にあり、介護保険優先で選択肢1を正答と求めているのであれば、この事例では夜間対応型訪問介護の導入で在宅生活の継続は困難と考えられる。妻の入院中の一時的サービス利用を考えさせて、平易に選択肢3を正答と求めるならば、「難病患者等短期入院事業」は正式名称ではなく「・・・短期入所事業」である。よって正答がない。
問題 3 5	正答が1つしかない。	災害後2カ月で不眠や意欲低下が続いている小学4年生に対して、選択肢1、2、4、5の対応は不適切である。よって、正答は3のみである。

II その他改善を要する問題

【午前】

問題番号	理由	コメント
問題 3 1	表現が不適切である。	文献検索、文献引用に関する常識的な問題であり、保健師に特化した選択肢の工夫が必要である。「保健師に求められる実践能力と卒業時の到達目標」においても研究成果の活用が求められており、出題としては不適切ではない。しかし、選択肢1の「本文を読まずに引用した」は表現が不適切であり改善が必要。

Ⅲ 全体について

- 1) 保健師としての解釈・判断や問題解決の適切な支援方法を問うよりも基本的な知識を問う問題が増えている。午前55問中23問、午後50問中21問が単純想起型であり、一見してナンセンス肢とわかる問題や選択肢すべてが単純真偽形式（○×形式）であるような易しすぎる問題も残っている。
- 2) 一般問題に状況を設定した問題文が増えた。これは、タキノミーレベルを上げて、判断力を問おうとする姿勢であると考えられるが、設問内に不要な条件や要素があり、受験者は読解に時間を要している。また、提示された情報と選択肢の内容が関連していない問題もあり、改善を要する。
- 3) 施策化や事業計画などのプロセス、評価の指標、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの実際、活動を進める場合の連携、実態把握のための調査法など、卒業時の到達度を達成できる基本的能力を問う良問がみられた。
- 4) 疫学や統計の問題は難易度が高いと受け取った受験生や教員が多かったが、保健師活動の重要な要素である施策化や評価を進める上で習得しておかなければならない必須の基礎知識であり、保健師教育の中で強化する必要があると考えられた。